



2006年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

2006年1月31日

上場会社名 日本ユニシス株式会社

(コード番号: 8056 東証第1部)

(URL <http://www.unisys.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 靱井 勝人
責任者役職・氏名 執行役員広報部長 田崎 稔 TEL (03)5546-4111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無: 有
 ・時価のある有価証券: 減損処理は実施していません。
 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無: 無
 連結および持分法の適用範囲の異動の有無: 有
 連結 (新規) 1社 (除外) 0社 持分法 (新規) 0社 (除外) 0社
 当第3四半期の数値および前年同四半期の数値については、監査法人による監査を受けておりません。
 金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2. 当社グループの四半期業績の特性

一括請負型システム開発の売上計上基準は検収基準を採用しており、第2四半期および第4四半期に検収が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集約いたします。
 ハードウェアおよびソフトウェア販売は、第2四半期および第4四半期に出荷が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集約いたします。
 この四半期ごとの業績変動の特性は、当期に発生した特殊事象ではなく、当業界の傾向であります。

3. 2006年3月期第3四半期財務・業績の概況(2005年4月1日 ~ 2005年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2006年3月期第3四半期	190,821	1.4	4,037	-	4,204	-	2,798	-
2005年3月期第3四半期	193,550	1.5	467	-	620	-	858	-
(参考)2005年3月期	308,868		10,413		10,533		4,716	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
2006年3月期第3四半期	26 50	- -
2005年3月期第3四半期	8 04	- -
(参考)2005年3月期	43 34	43 33

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2006年3月期第3四半期	227,752	93,486	41.0	888 85
2005年3月期第3四半期	193,282	91,255	47.2	861 84
(参考)2005年3月期	222,155	96,892	43.6	916 10

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2006年3月期第3四半期	4,748	14,696	17,416	23,955
2005年3月期第3四半期	5,035	10,309	2,284	23,920
(参考)2005年3月期	12,112	16,671	3,633	25,983

4. 2006年3月期の連結業績予想(2005年4月1日 ~ 2006年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	315,000	4,000	3,700	1,700

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 15円22銭

(注) 2005年10月31日発表の連結業績予想に変更はございません。

上記の連結業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

(第3四半期連結業績に関する定性的情報等)

(1) 概況

当第3四半期のわが国の経済は、企業収益の改善、設備投資の増加により、緩やかに回復しています。また、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くものと見込まれています。情報サービス投資全体は緩やかに増加しており、特にシステム構築需要が増加しているものの、プロダクトの価格下落傾向は依然として続いております。

このような環境の下、当社グループは『U&U (Users & Unisys) による価値共有を通して「高成長企業集団への脱皮」「売上高5000億円への挑戦」という将来ビジョンを掲げました。成長に向けた新たな挑戦への柱として、「R&D強化」、「M&A」、「グローバル展開」、「三井物産との連携」を掲げ、検討および実行を開始いたしました。

当第3四半期においては、新規案件の獲得やアウトソーシング・ビジネスの拡大に向けた積極的な提案活動を展開し、金融機関向けでは、次世代オープン勘定系システム「BankVision®」を新たに採用いただくなど、順調に推移しております。また、フルバンキング基幹システムに要求される最高水準の高信頼性・高可用性に加え、64ビット環境にも対応した「ES7000/600シリーズ」を販売開始いたしております。

第4四半期以降への取り組みとして、1月1日には、「営業」、「開発」、「保守」という三つの機能が「三位一体」となって、顧客にワンストップサービスを提供できるよう体制をさらに強化いたしました。これにより、グループ内の連携を図り、成長に向けたさらなる経営基盤の強化を着実なものにしてまいります。

(2) 経営成績

当社グループの四半期業績は、前述のとおりその特性として、第2四半期、第4四半期に売上および利益計上が集中する傾向にあります。

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高はシステムサービスを中心にサービス売上は増加いたしました。ソフトウェア、およびハードウェアではメインフレーム関連の売上の減少等により、1,908億21百万円（前年同四半期比1.4%減少）となりました。

また、利益面につきましては、ユニシス・コーポレーションに対する技術情報・技術援助の提供料および商標使用料の改定による一時的な費用負担増約41億円の影響があったものの、サービス生産性向上および各種経費の抑制を推進し、営業損益は40億37百万円の損失（前年同四半期は4億67百万円の利益）、経常損益は42億4百万円の損失（前年同四半期は6億20百万円の利益）、四半期純損益は27億98百万円の損失（前年同四半期は、8億58百万円の損失）となりました。

(ご参考)「ユニシス・コーポレーションに対する技術情報・技術援助の提供料および商標使用料の改定」について

既にお知らせしておりますとおり、当第3四半期において「ユニシス・コーポレーションに対する技術情報・技術援助の提供料および商標使用料の改定」を行いました。当社は設立当初よりユニシス・コーポレーションのユニシス製コンピュータ等に関する日本総代理店となっており、当該代理店契約に関連し、技術情報・技術援助の提供および商標使用権の設定に関する契約を締結しておりますが、当期はこの商標使用権等の対価の更改時期にあたるため、最近の日本市場における環境変化を考慮し、契約条件の見直しを行ってまいりましたが、基本事項につき合意に達し、契約を締結いたしました。

変更の内容としては、商標使用権等に関し、期限の定めのない使用許諾の対価を2年間で一括して支払う契約に変更いたしました。また、顧客に対するサポート・サービスに必要な高度な技術支援ならびに技術情報の提供の対価については、一定額を毎期支払うことといたしました。

<変更契約の内容>

商標使用権等の設定、提供

対価	： 一括使用許諾料 225百万ドル
契約期間	： 2005年4月1日より発効（期限の定めはない）
支払時期	： 2005年10月 112.5百万ドル 2006年10月 112.5百万ドル

サポート・サービスに必要な高度な技術支援ならびに技術情報の提供

対価	： 年額20百万ドル（5年後更新時見直し）
契約期間	： 2005年4月1日より5年間（5年後更新）
支払時期	： 四半期毎に精算

(3) 財政状態

当第3四半期の総資産の状況につきましては、ユニシス・コーポレーションに対する技術情報・技術援助の提供料および商標使用料の改定に伴い、第4四半期以降に売上原価として費用化するものについて、前払費用および長期前払費用に158億46百万円計上したこと、たな卸資産およびアウトソーシング用ソフトウェア開発等による無形固定資産の増加により、前年同四半期に比べ344億70百万円増加の2,277億52百万円となりました。

当第3四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物が、前期末に比べ20億28百万円減少の239億55百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、ユニシス・コーポレーションに対する技術情報・技術援助の提供料および商標使用料の改定に伴う当期の支払額141億28百万円の影響等により、47億48百万円の支出（前年同四半期は、50億35百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形および無形固定資産の取得による支出等により、146億96百万円の支出（前年同四半期比43億86百万円増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、コマーシャル・ペーパーの発行等により174億16百万円の収入（前年同四半期比151億32百万円増）となりました。

5. (要約)四半期連結財務諸表等

(要約)四半期連結損益計算書

	当四半期 (2006年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (2005年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (2005年3月期)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	190,821	193,550	2,728	1.4	308,868
売上原価	149,028	144,463	4,564	3.2	232,941
売上総利益	41,793	49,086	7,292	14.9	75,927
販売費及び一般管理費	45,831	48,619	2,788	5.7	65,514
営業利益(は損失)	4,037	467	4,504	-	10,413
営業外収益					
1受取利息及び受取配当金	162	169	7	4.4	208
2その他	229	398	168	42.3	541
営業外費用					
1支払利息	343	347	3	0.9	463
2その他	215	67	148	220.4	166
経常利益(は損失)	4,204	620	4,825	-	10,533
特別利益	265	303	37	12.3	305
特別損失(注)	311	2,006	1,695	84.5	2,031
税金等調整前四半期 (当期)純利益(は損失)	4,250	1,082	3,167	-	8,808
法人税等	1,511	235	1,275	-	4,049
少数株主利益	59	11	48	424.5	41
四半期(当期) 純利益(は損失)	2,798	858	1,940	-	4,716

(注)・前年同四半期および前期の「特別損失」の主なものは、特別退職支援金であります。

(要約)四半期連結貸借対照表

	当四半期 (2006年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (2005年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期 (2005年3月期末)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
(資産の部)					
流動資産					
1現金及び預金	23,295	17,958	5,336	29.7	25,993
2受取手形及び売掛金	48,441	41,440	7,000	16.9	85,149
3たな卸資産	36,262	25,099	11,162	44.5	15,215
4前払費用	16,775	4,856	11,918	245.4	4,111
5その他	13,035	23,187	10,151	43.8	10,047
流動資産計	137,810	112,543	25,267	22.5	140,518
固定資産					
1有形固定資産	21,820	23,913	2,092	8.8	22,476
2無形固定資産	23,866	17,908	5,958	33.3	19,564
3投資その他の資産					
(1)投資有価証券	10,544	8,071	2,473	30.6	8,858
(2)繰延税金資産	8,938	7,666	1,271	16.6	8,027
(3)前払年金費用	10,820	12,354	1,533	12.4	11,859
(4)その他	13,951	10,825	3,126	28.9	10,851
固定資産計	89,942	80,738	9,203	11.4	81,636
資産合計	227,752	193,282	34,470	17.8	222,155
(負債の部)					
流動負債					
1支払手形及び買掛金	36,169	23,193	12,975	55.9	39,555
2短期借入金及び 長期借入金(1年以内)	6,869	7,051	182	2.6	9,440
3コマーシャル・ペーパー	24,000	8,000	16,000	200.0	6,000
4その他	30,757	29,187	1,570	5.4	34,428
流動負債計	97,795	67,432	30,363	45.0	89,424
固定負債					
1社債	8,000	8,000	-	-	8,000
2長期借入金	19,037	14,056	4,981	35.4	15,375
3その他	8,797	11,965	3,168	26.5	11,911
固定負債計	35,835	34,022	1,812	5.3	35,286
負債合計	133,631	101,454	32,176	31.7	124,711
少数株主持分	634	572	62	10.9	551
(資本の部)					
資本金	5,483	5,483	-	-	5,483
資本剰余金	15,286	15,281	5	0.0	15,281
利益剰余金	73,700	71,761	1,938	2.7	77,390
その他有価証券評価差額金	3,208	1,869	1,338	71.6	2,150
自己株式申込証拠金	8	-	8	-	-
自己株式	4,200	3,141	1,059	33.7	3,413
資本合計	93,486	91,255	2,231	2.4	96,892
負債、少数株主持分 及び資本合計	227,752	193,282	34,470	17.8	222,155

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

項目	当四半期 (2006年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (2005年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (2005年3月期)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(は損失)	4,250	1,082	8,808
減価償却費	10,839	13,325	18,363
引当金の減少額	197	221	263
固定資産売却益	221	16	16
売上債権の増減額	36,708	42,237	1,471
たな卸資産の増加額	21,046	14,126	4,242
仕入債務の減少額	3,411	19,723	3,360
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	20,357	11,839	2,057
小計	1,936	8,552	15,758
利息及び配当金の受取額	163	171	206
利息の支払額	295	302	463
法人税等の支払額	2,679	3,385	3,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,748	5,035	12,112
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	5,920	3,944	5,409
有形固定資産の売却による収入	355	106	21
無形固定資産の取得による支出	9,176	6,830	11,481
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	45	359	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,696	10,309	16,671
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	56	80	146
長期借入れによる収入	5,000	100	5,900
長期借入金の返済による支出	3,964	3,602	5,629
コマーシャル・ペーパーの純増加額	18,000	8,000	6,000
自己株式の取得による支出	826	1,161	1,433
ストックオプションの権利行使による収入	52	-	-
配当金の支払額	770	766	802
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	130	205	255
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,416	2,284	3,633
現金及び現金同等物の減少額	2,028	2,988	925
現金及び現金同等物の期首残高	25,983	26,909	26,909
現金及び現金同等物の期末残高	23,955	23,920	25,983

6. 受注及び販売の状況

(1) 受注の状況

売上区分	受注高		受注残高	
	百万円	前年同四半期比	百万円	前年同四半期比
サービス	117,404	0.4	97,928	+9.1
ソフトウェア	24,418	1.3	16,577	9.8
ハードウェア	50,870	+26.6	19,807	+7.9
合計	192,693	+5.4	134,314	+6.2

(注) 1. 受注残高については、1年以内売上予定の残高を記載しております。

2. 上記の金額には、消費税等を含んでおりません。

(2) 販売実績

売上区分	金額	
	百万円	前年同四半期比
サービス	120,119	+5.7
ソフトウェア	27,797	13.4
ハードウェア	42,905	10.2
合計	190,821	1.4

(注) 上記の金額には、消費税等を含んでおりません。